



# 市史へんさん

第 258 号

令和 2 年 9 月 1 日  
小松市史編纂事務局  
へんさんだより

先月 25 日に、2025 年に開催予定の大阪・関西万博のロゴマークが発表されました。「セル(細胞)」をイメージした赤い円を重ね、万博のテーマである「いのちの輝き」を表現したデザインで、楽しさ、エネルギー、希望を感じさせる、新しい時代を切り開くロゴです。万博の開催に向け、ますます期待が高まりますが、かつて、当市でも『小松博』と銘打って、大博覧会が開催されたことが、皆様の記憶に残っていますでしょうか。9 月からの市制 80 周年記念企画は、この『小松博』を取り上げます。当時、人口 9 万人ほどの小松市が、50 万人を超える集客があった、この市民のエネルギーを感じていただければと思います。

## 市制 80 周年記念『写真でふりかえる小松市～賑わいをみせた小松博～』

### ◇ 概要

昭和 37 年(1962)9 月 23 日から 11 月 6 日まで、小松空港と航空自衛隊小松基地完成を記念して、「伸びゆく日本 産業と防衛大博覧会」、通称「小松博」が開かれた。人口密度の希薄な地でも多数の集客を成し得るとの当時の市長、和田伝四郎の決意を持って、末広運動公園、小松基地の 2 会場(375,000 m<sup>2</sup>)にわたって催された。

収入源である入場券は 20 種類を発行。大人は当日券 170 円 前売券 130 円、団体券 130 円で、前売券には電化製品の懸賞を付けて、購入意欲を盛り上げた。

パビリオンは、人が喜ぶもの、他の博覧会とは趣きの異なったもの、時代にアピールしたもの、特に、子供、若い女性の関心を持つものを条件とし、公共関係では防衛館、国鉄館など 7 館、スポンサー関係では郷土館、お菓子の家、インスタント館など 11 館、この他、人間と宇宙旅行館、美人の国など独創的な館が 4 館、小松製作所館、日立館などの企業 4 社も出展した。

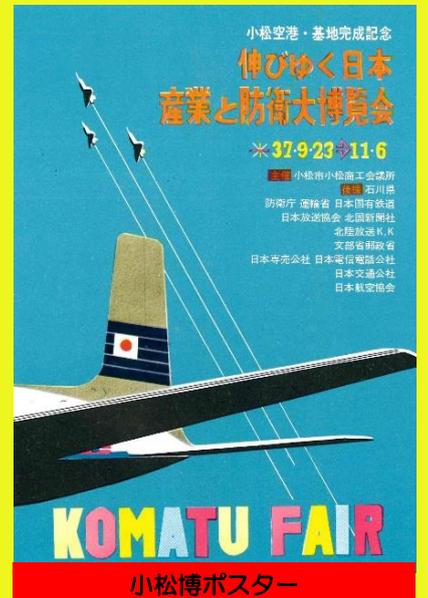
町なかの商店会も、小松博に協賛し、大売り出しを実施。プロ野球ナイターの招待やくじ引きで小松博の入場券を出し、博覧会を盛り上げた。

開会に当たり、前夜祭が挙行され、和田市長を先頭に提灯行列が町を練り、開場式では、高松宮殿下をお迎えし、テープカット後にはアクロバット飛行も行われた。この他にも芸能人を招聘し、小坂一也らのサイン会を実施したり、柏戸関ら大相撲の一行の顔見世を行い、弓取りや相撲甚句を披露したりした。

会期は 45 日間。入場者数は 511,351 人、総事業費 9,094 万円に対し、収入額は 9,931 万円で 837 万円程の純益を得、予想を上回る大盛況で幕を閉じた。



第一会場(末広体育館入口)



小松博ポスター



(左)大噴水・お菓子の国/(上)全国観光物産館



ロゴマーク

(左)連日満員の「子供の国」

\*写真：『伸びゆく日本 産業と防衛博覧会記念誌』より

## 『近現代編』の編集から ~図書館~



今年度発刊予定の『近現代編』から、前号は「芦城公園」を紹介したが、今回は、図書館を取り上げた。

図書館については、『教育編』でも「社会教育」の章で、その史料を載せたが、その始まりは、明治20年(1887)龍助町に設置された「芦城文庫」である。筒井又七(後に小松町長)が、自費500円を投じ、図書や設備を整えて、無料で開放した私設図書館である。その後、大正初期までに、青年団(会)を中心に、各村々に図書館が置かれた。ようやく、大正12年(1923)、町立図書館が芦城尋常高等小学校内に設置され、昭和15年(1940)には、市制施行に伴い、2町5カ村立の図書館が吸収された。大戦を挟み、図書館は転々と移転して存続したが、新庁舎が完成した同27年に、旧庁舎に移転し、初めて独立館として運営を始めた。翌年、芦城公園内に移築、改装し、



本格的な活動を始めた。しかし、年々蔵書が増加し、手狭となったため、同45年に市民ホール、博物館との複合施設の3階に移転。更に同56年に現在地に新築した。平成18年(2006)には、南部図書館、絵本館が次々とオープン。市民の読書推進に努め、地域の教育文化の振興に寄与している。



旧庁舎を利用した図書館／(上) その内部の様子

図書館まで足を運べない市民のために、昭和60年から移動図書館車「みどり号」が本を運んでいる。現在2代目が活躍。(写真は初代)



### <事務局 8月の活動状況>

- ・ 8月 6日(木) 福祉事業資料調査(NPO ぽぽぽねっと)
- ・ 8月 7日(金) 災害関係資料(石川県議会誌)調査
- ・ 8月 13日(木) 災害関係資料(石川県警察史)調査
- ・ 8月 19日(水) 通史(近世)担当内容擦り合わせ

### <事務局 9月の活動予定>

- ・ 9月 5日(土) 近現代部会
- ・ 9月 5・6日 財政関係資料調査
- ☆ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため調査は、事務局での資料調査。

### <9月のカレンダー> 開室時間 10:00~12:00/14:00~16:00 (火~土)

| 日曜日  | 月曜日  | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日  | 金曜日  | 土曜日  |
|------|------|-----|-----|------|------|------|
| 8/30 | 8/31 | 1   | 2   | 3    | 4    | 5    |
| 6    | 7    | 8   | 9   | 10   | 11   | 12   |
| 13   | 14   | 15  | 16  | 17   | 18   | 19   |
| 20   | 21   | 22  | 23  | 24   | 25   | 26   |
| 27   | 28   | 29  | 30  | 10/1 | 10/2 | 10/3 |

\*    は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間で、御用のある方は、9時から17時まで受け付けますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail [hensansitu@city.komatsu.lg.jp](mailto:hensansitu@city.komatsu.lg.jp)
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

